

科目名 「専門歯科衛生士学」

学年	学期	科目責任者
3	後学期	オーガナイザー 小方 頼昌
学習目標 (GIO)	歯科衛生士として社会貢献できるよう、より専門的な知識・技能・態度を修得する。	
担当教員	各科指導者	
教科書	各科の指示に従う	
参考図書	各科の指示に従う	
評価方法 (E V)	各科による	
学生へのメッセージ オフィスアワー	将来、歯科衛生士としてどの分野で活躍をしたいか、何を専門としたいかをよく考え、選択をしてください。自ら選択をするので、責任を持った行動をとりましょう。また積極的に取り組んでください。	
日程	第1クール	10／2（月） 16（月） 23（月） 30（月）
	第2クール	11／6（月） 13（月） 20（月） 27（月）

科	授業項目	授業内容	担当教員
特殊歯科		【授業の一般目標】 障害者および要介護者の歯科臨床を体験しながら，Four handed dentistryの実践，口腔保健管理の計画立案および実施ができる。 【行動目標（SB0s）】 ・Four handed dentistryを実践できる。 ・障害者に対する口腔保健管理計画の立案ができる。 ・障害者に対する口腔保健指導・管理の実施ができる。 【準備学習項目】 ・各障害および疾患の特徴の確認（全身，口腔） ・各障害および疾患の歯科治療時の注意点の確認 ・歯科治療基本術式の理解 ・口腔保健管理計画に必要な知識の確認（道具などの環境整備も含めて） ・機械的歯面清掃の術式の理解 【学習方略（LS）】 患者実習 【評価方法（EV）】 口頭試問（20％），レポート（20％），出席（60％） 【学生へのメッセージ】 障害者および要介護者は，歯科衛生士の関わりによって歯科受診や適切な歯科保健行動が獲得できるようになります。多くの方々の支援ができるように専門性を学びましょう。	遠藤眞美 野本たかと 井樋加奈子

歯周科	歯周基本治療	【授業の一般目標】 歯周病検査の記入、検査結果の説明ができる。適切なキュレットが選択でき、正しいポジションでSRPができる。適切なペーストを選択し、PMTCができる。 【行動目標（SBOs）】 歯周病検査の結果から、歯周病の進行度を説明できる。SRP時の正しいポジションを説明できる。PMTCに使用するペーストの種類と特徴を説明できる。 【準備学習項目】 歯周病検査の項目を確認する。SRP時の正しいポジションを再確認する。PMTCに使用するペーストの種類と特徴を再確認する。 【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版（医歯薬出版） 【参考図書】 歯科衛生士講座 歯周病学 第3版（永末書店） 【学習方略（LS）】 患者実習 【評価方法（E V）】 口頭試問（20%）、レポート（20%）、出席（60%） 【学生へのメッセージ】 歯周病検査の記入、病状（歯周病検査の結果）の説明、スケーリング、スケーリング・ルートプレーニング、機械的歯面清掃（PMTC）が適切にできるようになりましょう。	小方頼昌 加藤彩子 目澤 優 二木 愛 鈴木 菜月
-----	--------	--	---------------------------------------

保存科 (保存修復)	【授業の一般目標】 口腔に関する健康意識とQOL向上のために、歯科衛生士として歯科審美治療の中でも特に漂白処置に対する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 生活歯漂白の適応症、禁忌症に対する診断ができる。 2. 生活歯漂白用薬物の特徴とその取扱いについて説明できる。 3. 漂白物の作用機序について説明できる。 4. 生活歯漂白の種類とその術式が説明できる。 5. オフィスブリーチが実施できる。 6. オフィスブリーチ後の注意事項を説明できる。 7. カスタムトレーの作製ができる。 8. ホームブリーチにおける患者説明ができる。 9. 漂白後に生じる偶発症とその対処法について説明できる。 【準備学習項目】 2年次で行った漂白に関する講義を復習しておく。 【学習方略（LS）】 < 1 日目 > SB0 1 ～ 4、9 についてテーマ別に学修する。その後、まとめた内容をテーマ別にプレゼンテーションして知識の共有を図る。 < 2 日目 > 相互実習による漂白体験 1 ー オフィスブリーチの実際ー < 3 日目 > カスタムトレーの製作 相互実習による漂白体験 2 ー ホームブリーチの実際ー < 4 日目 > 学んだことについてのポスターを作成（2 人 1 組）し、その内容についてプレゼンテーションを実施する。 【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 （医歯薬出版） 【参考図書】 クリニカル トゥース ホワイトニング 北原信也著 【評価方法（E V）】 ①各日程毎に学修態度の評価を行う。（3 0 %） ②4 日目のプレゼンテーションに関する相互評価（5 0 %） ③MCQ問題による試験評価（2 0 %） 以上①～③によって評価する 【学生へのメッセージ】 審美修復治療の中でも歯の漂白に関心のある学生はぜひ参加して下さい。将来、ホワイトニングコーディネーターを目指す基礎となります。	平山 聡
-----------------------	--	-------------

保存科 (歯内療法)		【授業の一般目標】 最新の歯内療法の診療に参加ができるようになるために、顕微鏡および最新の器具（NiTiファイル等）を用いた歯内療法を理解する。 【行動目標（SB0s）】 ①顕微鏡を用いた歯内療法の特徴を説明できる。 ②顕微鏡を用いた歯内療法の準備・介補ができる。 ③歯内療法の最新の器具の特徴を説明できる。 ④最新の器具を用いた歯内療法の準備・介補ができる。 【準備学習項目】 今まで習得した歯内療法の確認 【学習方略（LS）】 診療室で実践をしながら習得する。 【評価方法（EV）】 実習中の口頭試問およびレポート 【学生へのメッセージ】 歯内療法は無菌処置を徹底します。器具の扱いに注意するように。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人
補綴科 (クラウンブリッジ) (有床義歯)		【授業の一般目標】 歯科補綴学では歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療の臨床的意義と方法および診療補助を理解する。補綴装置の予防処置や指導法を立案し、介補時に患者へ説明・指導をできるようにする。印象練和で術者ヘトレーの受け渡しや、採得した印象の消毒と石膏の注入により模型製作ができるようになり、補綴治療全般を理解し、歯科衛生士として求められる知識、技能および態度を評価する。 【行動目標（SB0s）】 1. 補綴診療時の診療補助ができる。 2. プロビジョナルレストレーションの製作と仮着用セメントの練和およびセメントアウトができる。 3. 補綴装置装着者のブラッシングと予防法を説明できる。 4. 寒天・アルジネート練和による精密印象採得ができる。 5. 採得した印象の消毒と石膏注入により模型を製作できる。 【準備学習項目】 教科書や配布資料により歯科補綴治療における診療補助および材料について学習しておくこと。webclassでバキューム操作について事前学習すること。 【学習方略（LS）】 これまでの学習から歯科医療の特徴、補綴診療の流れ、および各補綴装置の衛生指導法から、社会に貢献できる歯科衛生士としての基盤を創る。 【評価方法（EV）】 歯科衛生士として求められる知識、技能および態度を各実習日それぞれで評価する。 【学生へのメッセージ】 実習内容 1日目 A班とB班の2班に分かれて3F・職員技工室見学と補綴科診療室での見学・介補を行う。午前と午後とでA班・B班を交代する。 担当DR：中田 2日目 午前：病院棟2Fコンサルテーションでバキューム操作のビデオ学修、補綴科診療室（ユニットNo. 59, 63）で診療補助の相互実習および寒天の準備 担当DR：田中、DH出町 午後：第5実習室で上顎左上⑤6⑦のプロビジョナルレストレーション製作と仮着用セメントの練和およびセメントアウト実習 担当DR：田中、内堀 3日目 学生セミナー室1・2で補綴の患者症例で医科・歯科的の既往歴、レントゲン写真から治療計画の立案と予防法に関する症例検討および大学院セミナー室での発表会 担当DR：中田 4日目 補綴科診療室（ユニットNo. 59, 63）で午前：寒天・アルジネートで上・下顎右側6の精密印象採得および石膏注入による研究用模型の製作（院内生技工室） 午後：院内生技工室でトリミング後に補綴科見学・介補 担当DR：小出、北村	河相 安彦 田中 孝明 中田 浩史 小出 恭代 内堀 聡史 北村 彩 出町 千景 中村 悦子

口腔外科		【授業の一般目標】 口腔外科治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（SB0s）】 ・外来：処置の準備、患者誘導、バイタル測定、介補、術後説明、片づけまでの一連の流れを理解して行動できる。 ・病棟：周術期における口腔ケアについて理解できる。 【準備学習項目】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第2・3・5章を読んでおくこと。 【学習方略（LS）】 実習 【評価】 ・技能課題：評価表での評価とします。 ① 埋伏智歯の準備② 患者誘導③ バイタル測定④ アシスト⑤ 片づけ各5回ずつ ・レポート課題： 外科処置を行った患者さん（全身疾患を有する）に対して ① どのようなリスクがあるのか ② 処置前・中はどのような配慮を行ったのか ③ 処置後はどのような指導を行ったのか 1日につき1症例ずつまとめ、考察してください。 【学生へのメッセージ】 2・3年生の実習を通して口腔外科でより専門性を学びたい目標を自分自身で立て、実習に臨んでください。	近藤壽郎 高橋康輔 友木里沙
小児歯科	①小児歯科診療 ②齲蝕予防 ③診療補助 ④小児の口腔保健管理	【授業の一般目標】 小児歯科における歯科衛生士業務を行うために、より専門性に特化した知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（SB0s）】 1. 小児歯科の診療体系を説明できる。 2. Four Handed Dentistryに基づいた診療補助ができる。 3. 患児の年齢や発達に配慮できる。 4. 小児歯科特有の疾病発症の機序とその予防法を説明できる。 5. 症例に応じた口腔保健管理計画を立案できる。 【準備学習項目】 講義および臨床実習にて学んだ全項目 【学習方略（LS）】 実習 【評価方法（EV）】 介補・見学症例に関するレポートと口頭試問にて知識・態度を評価する。 観察記録にて技能・態度を評価する。 【学生へのメッセージ】 「小児」という時間軸によって分類された特殊な診療科です。そのため包括的な歯科医療の知識・技能・態度が要求されます。	伊藤 龍朗 小川 奈保

矯正歯科		【授業の一般目標】 歯科矯正の分野で活躍できる歯科衛生士になるため、より深い知識と技術を修得する 【行動目標（SB0s）】 1．矯正治療の流れを理解し、円滑な介補ができる 2．抜歯非抜歯の判定について説明できる 3．固定について説明できる 【準備学習項目】 介補の手順、不正咬合の種類、矯正装置について説明できる 60分 【学習方略（LS）】 介補見学を介して矯正治療における歯科衛生士の役割を学ぶ 講義を介して抜歯非抜歯の判定、固定について学ぶ 【評価方法（EV）】 口頭試問、態度評価、レポート 【学生へのメッセージ】 矯正分野に興味があり、より知識を深めたい学生向けです	葛西一貴 根岸慎一 石井かおり 清水真美
総合歯科		【授業の一般目標】 ・総合歯科診療における安全・安心な歯科診療補助を行うために必要な基本的知識・技能および態度を習得する。 【行動目標（SB0s）】 ・総合歯科における診療補助と口腔衛生指導ができる。 ・診療に必要な器具の準備・補助ができる。 【準備学習項目】各診療科の治療内容 【学習方略（LS）】 診療室での診療補助実習 【評価方法（EV）】 口頭試問 【学生へのメッセージ】 ・清潔な服装で実習にのぞむこと。 ・総合的知識が必要なので、各科の診療内容を理解しておくこと。	小見山道 浅野 隆 小峯千明

オーラル リフレッシュ 外来		【授業の一般目標】 メンテナンスにおける歯科衛生士の業務を適切に実施するための知識・態度を修得する。 【行動目標（SB0s）】 メンテナンスの流れが説明できる。 PMTCに必要な器具・器材の準備・後片付けができる。 PMTCでの器具・薬剤の使用目的が説明できる。 PMTCでの器具・薬剤の使用方法が説明できる。 【準備学習項目】 口腔メンテナンスについて調べておく。（60分） 【学習方略（LS）】 見学 【評価方法（E V）】 課題レポート、出席、態度等 総合で評価する。 【学生へのメッセージ】 歯科衛生士として必要不可欠でメインとなる業務であるのでしっかりと学ぶこと。	河野善治 古賀 幸恵
口腔インプラント科		【授業の一般目標】 インプラント治療のメインテナンスに関わる歯科衛生士業務を修得する。 【行動目標（SB0s）】 インプラント患者の口腔衛生管理の必要性を理解する。 メインテナンスの方法を説明する。 インプラントメインテナンスの技能を修得する。 インプラント周囲炎・周囲粘膜炎の違いを説明する。 インプラントの維持療法・支持療法について説明する。 【準備学習項目】 講義内容やレポートを復習する。（60分） 【学習方略（LS）】 講義および実習 【評価方法（EV）】 知識、技能、態度で評価を行う。 レポートとしてメインテナンスの見学症例を記載する。技能試験を行う。 【学生へのメッセージ】 臨床実習で学習・経験したことを生かして、歯科衛生士として仕事をしたときに実践できる知識と経験を増やしていきましょう。	村上 洋 井下田繁子 永田恵実子
放射線科	歯科放射線	【授業の一般目標】 歯科衛生士業務に必要な画像解剖を習得する。 【行動目標（SB0s）】 口内法、口外法の正常解剖名称を説明する。 CT, CBCT, MRIの正常解剖名称を説明する。 【準備学習項目】 教科書を用いて行う。 【学習方略（LS）】 講義および実習 【評価方法（EV）】 口頭試問、小テスト、レポートで総合的に評価する。 【学生へのメッセージ】 歯科で行う画像検査とその画像解剖を復習して下さい。	川島 雄介 村松 輝晃